

産業振興計画の次なるステージの戦略の方向性（素案）

S Strengths 強み

食	自然と歴史	人・技術力
<ul style="list-style-type: none"> 高い評価の食 多様な一次産品 	<ul style="list-style-type: none"> 日本一の森林率 多様で豊富な自然 まんが文化 	<ul style="list-style-type: none"> 独自の技術力を持つ地場企業 防災に関する知識・技術

W Weaknesses 弱み

急速な人口減少	地理的ハンディ	経済構造
<ul style="list-style-type: none"> 少子・高齢化の加速 若者の県外流出 県内経済規模の縮小 担い手の不足 中山間地域の衰退 	<ul style="list-style-type: none"> 大消費地から遠距離 自然災害が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 中小・小規模事業者が多い 製造業分野の産業集積度が低い

O Opportunities 機会

生活者の意識・ニーズ	全国的な社会・経済情勢	国際化（グローバル化）
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍によるニーズ変化 防災意識の高まり 食の安全・安心志向 移住への関心の高まり 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル化の進展 大阪・関西万博 脱炭素化、SDGsの広がり（グリーン化） 防災対策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド回復 日本食・酒ブーム 貿易の自由化（輸出の促進）

T Threats 脅威

全国的な社会・経済情勢	地域間競争	国際情勢
<ul style="list-style-type: none"> 貿易の自由化（安価な外国産品流入） 物価高騰等によるビジネス環境の変化 労働力不足による賃上げなどのコスト増 	<ul style="list-style-type: none"> 県外製品・資本の流入 地域間競争の激化 	<ul style="list-style-type: none"> コロナに起因する部品供給停滞 エネルギー・食料の不安定な需給

戦略の柱 地産外商 + イノベーション

重点ポイント

	課題	重点ポイント	施策の方向性
1	①コロナ禍による社会変容、②エネルギーや原材料価格、物価高騰 → 事業の再構築・再生、産業の構造転換が必要	新たな産業の創出	○イノベーションを生み出す新たな産業等の創出 ○スタートアップの創出促進 等
2	①急速に進む社会のデジタル化 → デジタルによる構造転換や人材確保が必要 ②国際的な潮流である脱炭素社会への動き → 脱炭素化に資する取り組みの加速化が必要	DX、GXの推進	○デジタルを活用した付加価値や生産性の向上 ○デジタル社会に対応した人材の育成・確保 ○省エネ・再生可能エネルギーへの転換 ○グリーン化関連産業の育成 等
3	①原材料高や賃上げなどによるコスト増、②県内経済規模の縮小 → より付加価値のある商品・サービスを生み出すことや、弱みを強みに転換し、課題解決と成長につなげる必要がある	付加価値の創出と外商の強化	○付加価値の高い商品開発・ブランド力向上 ○国内外のさらなる販路開拓・拡大 等
4	①急速な人口減少による県内、国内市場の縮小 → 競争力のある商品づくり、インバウンドへの対応が必要	グローバル化の推進	○「食」などの高知の強みを生かした輸出拡大 ○世界に選ばれる持続可能な観光地づくり 等
5	①急速な人口減少、②コロナ禍を契機とした働き方の変化 → 各産業分野における担い手の確保や若者等の県内への定着が必要	産業人材の育成・確保	○産業人材の育成・確保の抜本強化 ○働き方の変化を捉えた移住の促進 等